

あかびらの 今と昔

今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

「ズリ山」

5月20日、ズリ山展望広場記念植樹会が行われました。展望広場に桜の木の苗木を約100本植樹し、炭鉱の歴史の地を思い出の地へとしました。今月号では、ズリ山の歴史について振り返りたいと思います。

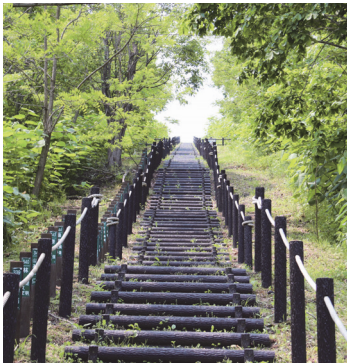
ズリ山と言う名前は皆さん耳にしたことがあると思いますが、どういったものなのか。そう聞かれると知らない方もいるのではないのでしょうか。

まず、「ズリ」とは石炭の採掘したときに出た岩石などのことをいい、それを長い月日を経て積み上げてできたものを「ズリ山」といいます。

選炭技術が発達していない時代は、ズリとともに石炭が混じってしまい、それをそのまま積み上げると自然発火が起き、ズリ山から白い煙が立ち上がっているのを各地で見ることがあったようです。



整備された日本一のズリ山階段



少しでもズリ山のことを知りながら階段を登ってみると、また少し違った楽しさを感じることができるともいけません。



選炭場と低いころのズリ山

現在、このズリ山に777段の「日本一のズリ山階段」がつけられ、頂上からは、赤平市を一望することが出来ます。また、毎年7月に行われている、あかびら火まつりの火文字の舞台としても使用され、赤平の象徴の一つになっています。

地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊2年目の近藤です。

普段はKANA-YELLに常駐していますので、お店の従業員のようなイメージがあるかもしれませんがね。

KANA-YELLは協力隊の事務所にもなっていて、去年はあかびら商店街通信をつくるなど商店街の情報発信や、空き店舗の情報収集などを行っていました。あかびら商店街通信は前任者の大倉さんと一緒につくっていました。新聞折込などご覧になったことはありますか？

今年は市外に向けた情報発信に力を入れていくため、あかびら商店街通信のWEB版や商店街の魅力を伝える動画配信を行います。まちで見かけたらお気軽に声を掛けてください。ヒデ隊員でした。



商店街通信のWEB発信
ただいま準備中です